

R S T研修会 報告書

日時：平成22年7月28日 17:30～18:30

場所：当院 大研修室

参加者：R S Tメンバー、当院スタッフ、付属看護学校教員・学生等
59名参加

講師：(株) コヴィディエンジャパン 矢後 幸子先生（看護師、呼吸療法認定士）
勤務歴…昭和大学病院 ICU

テーマ：気道管理と人工呼吸器関連肺炎（VAP）について

内容：小児と成人の上気道の比較・解剖

気管内チューブの固定位置・確認方法等

VAPとは（定義、疫学、危険因子等）、予防指針

カフ形状の違い、カフの直径の関係、適切なカフ圧・障害・管理

カフ上部吸引の効果・方法

実験

- ①吸引時間（15秒程度）でどの程度SPO₂が低下するか、実際にモニターを装着し、息を止めて数値の変化をみる
- ②カフ圧が適切に保たれていない・カフにしわがよっている場合はカフ上の分泌物がどの程度垂れ込むか、お茶を流してみる
（新しいテーパー型のカフとの違いも検証）

<参加してみたの感想>

実験でカフにはしわが寄り、カフ上部の分泌物は思ったよりも垂れ込んできてしまうことがわかった。勉強会の内容からも吸引の大切さを改めて学んだ。また吸引実施後にSPO₂の値は低下するため、実施中の患者の観察はもちろんのこと、実施後のSPO₂の低下に注意し、きちんと数値が上昇するまでその場を離れないでいるべきであると学んだ。



記録：渡辺彰子、坂本明子、渡辺益江、太田光子